

No. 65

2006

11月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
木下 豊
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

天^{てん}道^{どう}無^む親^{しん}
(老子)

碩雲書

不^ふ道^{どう}
森^{もり}親^{しん}

「荒神杉表札書刻の記念色紙」

平成十八年度、下市田区の文化祭り・敬老会が好天に恵まれた十月十四日、十五日の両日盛大に行われました。古文書や絵画、工芸作品、盆栽等の展示発表。敬老会ではエアロビクスや吹奏楽他、多くの皆さんのクラブ発表がありました。

今年は隔年実施の講演会の時間に、以前高森中学校にも勤務された事のある先生、快樂亭狂志師匠と子供さん二人による落語がありました。とても楽しく大ホール満員の敬老会出席者を魅了しました。

萩山の里の発展を見守り続けて七百年（推定樹齢）。おしまれつつも安全面から伐採された荒神社の大杉の古木が姿を変えて区民の皆さんの手元に帰って来ました。

表札に御礼、絵馬。飯田市龍江在住の書家「碩雲」前沢茂人先生が一枚一枚に心を込めて書きあげて下さいました。

天の道は常に公平で
特別な人にいきする事は
ないという意味
常に、吾人は味方です

区の情勢について

区長 木下

▲平成十九年度地区計画のまとめ

来年度の地区計画のまとめを今年には各自治会とも例年より早めにまとめて、九月末には殆どが区へ提出されました。下市田区では区三役、各自治会長、各委員長の合同会議を開いて区としての内容の検討、各事業の順位付けなどについて協議し、道路・水路に関わる事業については土木委員会・水利委員会へ付託し、その他の事業、要望等については区三役・自治会長が、十一月末までにはまとめて十一月九日の町のヒアリングに臨む予定であります。

各自治会から提出された要望は非常に多く、道路・水路に関わるもの二〇件、施設整備等に関するもの一〇八件、その他町・県・国への要望が四四件にのぼっております。最近の国・県・町いずれの財政状況から考えてもその総てを実現することは極めて困難であるように思われます。

今までは「地区計画に上げておけばそのうちにやってくれるだろう」といった

豊

考え方が多くあったように思いますが、これからはそこに住む人達の努力の差によって地域の差が生まれるのではないかと考えられます。

▲一区積善会館・消防施設などが完成しました。

前号にも掲載しましたが一区の北の原団地の西側へ新設された素晴らしい道路に沿って、一区の集会施設や消防施設が予定より若干遅れましたが完成し、去る八月二十六日に竣工式が行われ、九月十七日には一区の皆さんへのお披露目と併せて芸能祭が盛大に行われました。

委員会活動報告

土木委員長 酒井博之

新年度になって早いもので、半年が経過致しました。区民の皆様には、日頃より土木委員会活動に御協力を頂き、御礼を申し上げます。

さて、土木委員会活動の重点課題であります地区計画事業の推進ですが、今年度事業は順次完成の推移を辿っております。現在の活動は、町の地区計画ヒアリングに対応する為、下市田地区計画の策定に委員全員で取り組んでおります。区民全体の安心・安



この集会施設「積善会館」の命名は戦前の厳しい時代にこの地域の人達が自分を守り、地域を守るために結成して活動した「積善会」に因んだものだそうです。今後の活用が大いに期待されます。

▲区民会館の座布団カバリーがきれいになりました。去る九月中旬下市田の日赤奉仕団の皆さん方が区民会館の座布団カバリーの洗濯をしてくださいました。気持ちのいい座布団をみんなが使うことができ本当にありがたいことだと思います。団員の皆さんのご苦勞に深く感謝いたします。

平成18年度 下市田区一般会計中間決算報告書

(自 平成18年4月1日～至 平成18年9月30日)

収入金計 20,480,908円 支出金計 10,545,705円 差引残高 9,935,203円

I. 【収入金の部】

項 目	予 算 額	決算収入額	比 較 増 減
1. 区 費	15,000,000	7,815,200	- 7,184,800
2. 繰 入 金	550,000	0	- 550,000
3. 町 支 出 金	5,000,000	2,649,480	- 2,350,520
4. 財 産 収 入	1,200,000	966,150	- 233,850
5. 地 元 負 担 金	300,000	46,230	- 253,770
6. 消 防 義 務 金	2,100,000	2,190,000	90,000
7. 諸 収 入 金	1,500,000	177,866	- 1,322,134
8. 前 期 繰 越 金	6,500,000	6,635,982	135,982
収 入 合 計	32,150,000	20,480,908	- 11,669,092

II. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予 算 額	決算支出額	比 較 増 減
1. 総 務 費	12,400,000	3,986,055	- 8,413,945
2. 環 境 衛 生 費	1,170,000	0	- 1,170,000
3. 林 務 費	900,000	74,640	- 825,360
4. 土 木 費	5,500,000	337,580	- 5,162,420
5. 水 利 費	2,500,000	3,144,030	644,030
6. 消 防 費	2,600,000	1,346,150	- 1,253,850
7. 公 民 館 費	3,000,000	1,500,000	- 1,500,000
8. 予 備 費	4,080,000	157,250	- 3,922,750
支 出 合 計	32,150,000	10,545,705	- 21,604,295

平成18年度 高森町公民館下市田支館 中間決算報告書

(自 平成18年4月1日～至 平成18年9月30日)

既収入額 2,351,882円 既支出額 1,735,365円 残 高 616,517円 (J Aみなみ信州預金残高 616,517円)

《収入の部》

科 目	予 算 額	既収入額
1. 繰 越 金	600,000	736,380
2. 繰 入 金	3,000,000	1,500,000
3. 補 助 金	450,000	103,400
4. 雑 収 入	1,000	12,102
合 計	4,051,000	2,351,882

《支出の部》

(単位 円)

科 目	予 算 額	既支出額
1. 総 務 費	2,310,000	878,689
2. 事 業 費	1,690,000	855,950
3. 広 報 費	20,000	726
4. 予 備 費	31,000	0
合 計	4,051,000	1,735,365

地元町議との懇談会

平成十八年度、地元出身町議会議員との懇談会が、

去る六月十日（土）午後七時より下市田区民会館に於いて開催されました。

久保田昌幸議員・上沼眞守議員・宮外正彦議員・小島福夫議員。顔ぶれもベテランから新人まで四議員が出席され、順次活動報告の後、地元住民の皆さんから質問を寄せて頂き、各議員に意見を述べて頂きました。

質疑応答

Q 人間形成には幼少期の教育が重要と思われるが、現在、高森町内には男性保育士がいないので、今後採用を検討してほしい。

A 採用するのは良い事だと思えるので、今後その方向で努力して行きたい。子供を取り巻くすべての人が一緒に時代に合った教育を考えてほしい。

A 私は女性保育士だけでも良いと思うが、男女を問わず、保育士は質のほうが大切だ。

※男性の中にも志しを持つ人もいるので、今後採用を検討してほしい。

Q 国の方針で指定管理者制度が九月から導入されると聞いているが、保育園は対象となるのか。

A 町の保育園の中では、吉田河原保育園は公設民営なので対象になる。

A 保育園が民営化されるのは、問題が多いので、慎重に審議して行きたい。

※制度の導入が子供達にとって良い事なのか、よく検討してほしい。

Q 町の保育士には正規職員が少ないので、保育士の身分を保障して、安心して子供を預けられるようにしてほしい。

A 意見については、必ず議会に上げて行く。

町の財政については十四年ぶりの緊縮財政であるが、町民の協力も得て、使う所には使えるようにして行きたい。

A 以前に男性保育士の応募があったが、採用されなかった。

Q 町は四区の松岡城址公園の今後をどのように考えているのか。

A 管理は教育委員会がしているが、県の文化財に指定されているので手を付けるのはむずかしい。

Q 桜の時期には人出が多く、車の渋滞やごみの問題など地元は迷惑しているの

A 早く対応してほしい。
Q 前向きに考えているので、時間がほしい。
Q 松岡城址公園での火災の原因は何なのか。

A 山林からの出火だった原因は特定されていない。

Q “子供を守る安心の家”というのが以前からあるが、リストや地図は公表されているのか。

A 安心の家のリストは公表されていないが、公表すると逆効果になり、その家に迷惑がかかる心配もあるため公表は控えたい。

Q 憲法九条を守ろう（請願）についてどう考えているのか。

A 憲法九条を守ろう（請願）については平和を愛する心には変りはないのでしっかり受け止めて、話し合いをする機会を持ちたい。各自、ものの言い方に違いはあるが、これからの議会を見てほしい。

A 廃案にするつもりはない。

A 継続審議に賛成した。

Q 災害時に常会長や組長にリーダーシップを取れる様に権限を与えてほしい。

また、動いてくれるボランティアグループがあってほしい。

A 議員が行政の下部組織にタッチするのはむずかしいので、各々、危機意識を持って助け合ってほしい。
Q 牛牧・上市田など上段

地区に住宅が増加しているが、下市田の下部地区の用水路の拡幅は無理な状況のため、河川の増水が心配されるので、貯水設備の設置を検討してほしい。

A 遊水池などの対策はその都度考えて来た。大島川への排水路もコンクリート壁が老朽化しており、管理している県への働きかけも必要だと考えている。

※排水路などの対策は、下市田だけの地区計画の枠の中ではむずかしいので、町へも働きかけていきたい。

教育問題に始まり、憲法問題や災害時の対応まで、多方面に亘る話し合いがなされました。地元の皆さんの議会への関心の高さの表われだと考えられます。

新町長を迎え、益々地元と議会を結びパイプ役として、四議員にはしっかりご活躍頂きたいと思っております。

久保田 記



区民こぞって楽しく 7月29日 萩の里祭り



新町長さんのご挨拶

天候にも恵まれて、下市田区の大きな行事の一つであります「萩の里祭り」が、折りがあつ

賑やかに挙行されました。下市田区、代議員会、各自治会、公民館、コミュニティ推進委員、育成会、高寿会、保育園、保育園保護者会、出砂原女性の会、日赤奉仕団、民謡クラブ、一勢会、共星会、参青会、漸進会、双葉会、出砂原青年部、やらまい会と多くの皆様の参画、ご協力のもと本番を迎えるまでの企画、運営に何度も集まり、昨年の経験から手順よくスムーズに打ち合わせ、準備が出来て（とは申しまして）も公民館三役の骨

増え、まだ暮れなずむ中、のこともなのですが）当日は朝から準備作業を行い、夕方には昨年の反省から、お楽しみコーナーではサイビス商品が同じ物のない様に準備されて、味もなかなかもので、子供達が楽しんでいました。お子さん方の中には、この日の為に「あちゃん縫い上げてくれたという「ゆかた」や「甚平」を着せてもらっての幸せそうな顔が印象に残っております。



お母さん いっしょにおどろね

各自自治会からの参加者もよく手入れされたグリーンの中、中央に組まれた櫓の上から「紅華」の皆さんによる呼び込み太鼓に、いよいよお祭り本番。町長さんはじめご招待に快くお出で下さった方々多数の参列を頂き開会し、保育園児と保護者と先生方の元気で可愛いダンスに感嘆し、園児の皆さんにお駄賃をあげてもらう様先生にお願いをしたあと、ご招待した方々への接待をしながら、子供エアロビクスの軽快なリズムや、お揃いの衣装に眼を細めさせられておりました。

皆さんによる木遣りが披露され、趣のある謡いの声に感じ入ったことでした。最後に全員での盆踊り。櫓の上での模範は民謡クラブの皆さんで、流石に決まっています、下の踊りの輪も沸きに沸きました。進行係が上手に閉め、予定通り閉会

次いで各区の踊りの発表が行われると祭りも最高の盛り上がりとなり、大きな灯は「ねぶた」とはいきまさんが創意をこらし、その踊りと共に審査員によってハーモニック賞、演技賞、盛り上がったで賞、ワイド賞、揃ったで賞、和やかムード賞と、楽しい賞に笑いが絶えることがありませんでした。続いて「縄文の火おこし」が例年通り行われて、この火で子供花火大会が出来るのです。これからも続けて欲しいですね。納涼盆踊りの前に、今年初めて「下市田木遣り保存会」の

式も済み、余韻の中万歳三唱。テント、机や椅子、火の始末など片付けもその晩に済ませました。安全協会の皆様のおかげで駐車場などのトラブルもなく感謝いたします。関係各位の方々ご協力本当に有難うございました。この地域の親睦が図られ、益々の発展を心よりお祈りして、ご報告いたします。

松下記



初参加の木遣りグループ



大人気 お楽しみコーナー



平成18年度 下市田文化祭り・敬老会 ぐるりウォーキング

素晴らしい秋晴れの中、
十月十四日・十五日の両日

が開催されました。

盛況だった 文化祭り・敬老会

『下市田区
文化祭り』

が開催されました。

グループ及び個人作品の

展示発表は屋内・屋外共、

十四日は午後一時より四時

三十分まで、十五日は午前

九時から午後四時まで行わ

れ、多数の区民の方が関心

をもって見学されました。

茶道クラブのお茶の接待

では接待を受けた方は、心

が癒されるひとときを送っ

ているようでした。

敬老会は、下市田区内七

十歳以上のお年寄りの方八

百四十三名に招待状をお送

りし、百七十

五名の方が出

席されました。

内容は恒例の

高齢者表彰と

ステージでの

クラブ発表の

他、今年は講

演会として

「落語会」が

行われました。

高齢者表彰

では喜寿・米

寿・卒寿で、

百八名の方が

表彰を受けま

した。

クラブ発表

では各グルー

では各グループとも、この日のステージのため、熱心に練習された成果が発揮されているような素晴らしいステージで、特に小学生・保育園児をはじめとするエアロビクスの躍動感あふれる演技が非常に印象的でした。

落語会では、珍しい企画ということもあって、子ども落語家の参流亭カッキー・りょうた両君の大人顔負けの物おじしい話し方や、快樂亭

狂志師の熟練された話術で、会場は笑いのつぼと化し、和やかなひとときが流れました。

下市田ぐるりウォーキングは、十四日午後一時から四時まで行われ、参加者約五十名で歩きました。

今年はコースが平地に一本化され、天竜川河川敷堤防道路を歩き、戻ってくるコースでした。身近な所なのにこんな所に史跡があるのを知らなかったとの声もあり、歩いた人達には有意義なウォーキングになったと思います。

新井記

毎年恒例の下市田ぐるりウォーキングが十月十四日に行われました。参加者約五十名が二チームに別れ、午後一時より四時まで、史談会・自然愛護会の皆さんの先導と説明を受けながら、史跡めぐりを致しました。

江戸ヶ沢を下り、工業団地を経て天竜川の堤防へ：好天に恵まれ、気持ち良い川風を受けながら、下市田六区へと進みましたが、その間、道端に咲く草花の説明、収穫の終わった田園の水稲の話、今年七月の台風により、天竜川の本流が豊丘側に移ったことなど聞きながらの行程でした。

それではここで、史談会の皆さんよりお聞きした、史跡の説明の一部を記してみます。

惣兵衛堤防は今から約二百五十年前、水害に苦しめられていた下市田の水田を護るため、高度な技術を持つ中村惣兵衛氏に築

ぐるりウォーキング

堤事業を託し、その指導のもとに堅固な堤防が完成したのだそうです。

斉藤茂吉歌碑「向こうより瀬の白波の激ち来る天竜川におり立ちにける」神稲小学校（現豊丘南小）へ講演に來られた折、天竜川の壮観に感動され詠まれたということです。

その他、亀甲石、北林三号塚などの説明を受け、途中二度の休憩をとりながら、区民会館へと帰ってまいりました。

原円記



ようこそ下市田へ

田舎暮らしに憧れて

一区 加藤悦子

主人の退職を機に、私の

母、私の姉夫婦と一緒に主人の故郷長野県、そして下市田で暮らして、十二月で九年になります。

私は、大阪生まれの大阪育ちですが、信州に度々遊びなどで来る機会を重ねるうちに、「田舎」を持たない私は、信州の田舎暮らしも「ええなあ」思うように

なりました。

現在は、地域の方のご好意で、大切な畑を貸して頂き野菜作りの参考書や、周りの方々の助言を頂き精を出しています。出来ばえはもう一つですが、なんとか

「食べられそう」なので、娘、親戚、友人等に送って喜んでいます。野菜作りを楽しみとしてやっていますが、農作物を育て、管理することは大変だなあと実感しています。



分らないまま公民館の役を引き受け迷惑を掛けています。何時までも元気で暮らせることを願い、田舎暮らしを満喫したいと思っています。

竹の音に魅せられて

六区 平沢宗治

謡とか唱歌、演歌を、老人クラブ等で吹いて一緒に歌っています。

昔からの古い家には「尺八」があるとよく聞きますが、かつては身近な楽器として多くの人に親しまれていたようです。

私は尺八を持って四十八年になります。

年になります。

一般には馴染みの薄い尺八も、最近は若手の奏者がテレビに出るようになりました。

曲といったものを吹いて

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

曲とい

た気分になります。

私の母

二区 上原ふみる

深まりゆく秋、暑さ寒さも彼岸までと言いますが、昔の人の言葉はもっともです。

柿の実の色づきもこの頃から、金木犀の強い匂い、コスモスの花、ススキの穂

花も一段と秋を感じさせてくれるものです。

私の母は、先月九月で九十歳になりました。

「うそだよな九十なんて」でもどう計算しても九十。昔の九

十歳を過ぎての……母は今までとても健康で、おしゃれで社交的で、大勢の友達に愛され親しくして



「やっぱりおまえさんの方が多いなー」と言われ「そんな事ないに、お母ちゃんの方が多いじゃ」

長生きしてね、お婆ちゃんの話をつつまでも聞いて下さいね。

随想

謡とか唱歌、演歌を、老人クラブ等で吹いて一緒に歌っています。

竹はウグイス笛や鳩笛の材料とし、子供の体験教室として使用しています。親子で苦労して作った笛が鳴った時の笑顔を見ることはうれしいものです。

この伊那谷には良い竹がありますので、もっと多くの皆さんに尺八を吹いたり作ったり、竹笛を作ったりしてほしいと思っています。よろしければ、何時でも気軽に一緒に竹の良さを楽しまししょう。



これからも更なる竹の音を求めて余生を過ごして行くつもりです。

もらいました。

とお互いに自慢し合う。

もっとも体が元気な頃、この季節になると河原のたんぼへ、いなごをとりに行く事がなによりも楽し

みでした。内心競争心がわいて、手ぬぐいで縫った袋

へいなごをとりためるんですが、並んでとっている訳

でない為、大きな声で「おい見せて、どれだ

けとれた」といなごを見せ合うのです。

「やっぱりおまえさんの方が多いなー」と言われ

「そんな事ないに、お母ちゃんの方が多いじゃ」

長生きしてね、お婆ちゃんの話をつつまでも聞いて

下さいね。

長生きしてね、お婆ちゃんの話をつつまでも聞いて

下さいね。

長生きしてね、お婆ちゃんの話をつつまでも聞いて

下さいね。

長生きしてね、お婆ちゃんの話をつつまでも聞いて

下さいね。

長生きしてね、お婆ちゃんの話をつつまでも聞いて

長生きしてね、お婆ちゃんの話をつつまでも聞いて下さいね。

中学最後の文化祭

中三 下原 有貴乃 (三区)

終わって
ほしくな
いのに、九月二十九日・三十日に
文化祭がありました。私は
図書副委員長で役員をやら
させてもらっています。な
ので、この文化祭を成功さ
せるために、前日まで毎日
のように残留をして、さら
に文化祭一週間前から、リ
ハーサルのために夜七時ま
で残留をしました。そして、ついに文化祭当日。
待ちに待った文化祭、
二日目は、音楽会でした。
私のクラスは金賞はとれな
かったけれど、すごくいい
発表ができて、金賞以上の
最高のものになりました。最初で最後のドッジボール大会
小六 小川 泉水 (五区)私は、今年六年生として
とても楽しい思い出を作り
たいと思っています。その
たくさんの思い出の中で一
番の思い出にしたいのが、
ドッジボール大会です。私
は、このドッジボール大会
に出るのは初めてだけど、
でも、チームのみんなと力
を合わせれば、きっと勝て
ると思って練習をしていま
す。このドッジボール大会
には、最初で最後と言
う気持ちでやっていき
たいと思っています。
なので、一回戦だけで
も勝てるようにして、
できれば最後まで行き
たいと思っていますので、
そこまで行けるのかわ

元旦の行事

下市田の郷土史と民俗④

各種年中行事
が廃れ、簡略化
されてきている
中でも元旦行事
は、その最たる
ものの一つでも
ある。生活の様
式と共に建築様
式も大きく変わ
り、長年に亘っ
て引き継がれて
きた元旦のしき
りが残ってい
る家も数少なく
なっている。元旦の朝は何
処の家も早起き
である。特に主
人は最初に起き
き清めた後、朝
意する為に若水
からないので、
習をして男子に
な力なるべく早
大会で自分たち
くようにしてい
思っています。な
会ではたくさん
成果を本番で見
りたいと思ってい
がんばりたいで
そのドッジボの水)を汲み(井戸・水道・
きれいな川から)焚き付け
としての豆殻(まめに育つ)
又は藁束(笑って暮らす)
で湯を沸かす。用意が出来
たところで家族を起し、
年の初めの挨拶をし、神棚
などに灯明(おあかり)を
あげ、家族揃って歯固め
(栗・柿・豆など用意)の
茶を頂く。干し柿から種が
沢山出ると、縁起が良いと
言って大事に取っておいた
ものである。五時頃には家
族揃っておひねり(米を白
紙に包む)を持ってお宮参
り(元旦参り)に行き、お
賽銭を上げ、拍手(二礼二
拍手一礼)を打ち家族の健
康、穀物の豊穰を祈願し帰
宅する。参拝の帰りに一年
間の魔除けにと、「破魔矢
(弓)を購入する習慣もあ
る。宮参りの他に氏神、お墓、更に信仰している神仏
参りをする家もある。帰宅
後は「お屠蘇(酒)」を頂き、
お雑煮(四角く切った餅を
焼いて、汁の中に入れる)
で朝食である。汁の具は、
牛蒡・豆腐・大根・人参・
昆布などの短冊切りなどで
あるが、家風により異なる。
味付けは醤油味である。勿
論オヤスにも同じように供
えた。当然元旦にはご飯は
炊かない。(お宮参りとお
茶の行事を逆にする家風も
ある)
朝食が済むと子ども達は、
戦中までは(学校によっては
学校長の方針で、戦後或る
時期まで継続していた)四
方拝の儀式に参加。一方大
人達も地域によっては集ま
て、新年祝賀会をしたり、
親戚、知人、隣近所への
年頭挨拶回り(年礼)をし
たりと多忙な時期もあった
が、相互に大変と言うこと
もあって、略式又は地区単
位の新年祝賀会(総礼)と
なってきた。下市田の或る
同一屋号三軒では、此処百
年余、所謂「総礼(早礼?)」
と言って、頑なに相互の新
年、挨拶回りをしている。
次回は正月二日・七日ま
での行事について。
(下市田史談会)



小学生グループ



保育園児グループ

グループ紹介

プチエンジェル

壬生利恵子(五区)

一名、保育園児二十一名別々になりました。

キッズ、エ 月二回のペースで小学生がアロビクスの第二、第四火曜日。保育園児が第一、第三火曜日の午後四時半から一時間、区民会館の大ホールをお借りして練習しております。

指導は、松川町の伊東いづみ先生で、他の曜日では大人の部も教えていただいております。練習の前後に円陣を組んで、「今日、頑張れる人のお名前を教えてください」と一人ずつ名前を聞いてから、「お願いします。」の礼から始まります。保育園児の部では、「ドラえもん」の曲でウォーミングアップをしてから、ダンスを踊っています。

保育園の園児の母親の有志の集まりからでした。昨年より人数増加のため、二グループに別れました。今では、町内外より小学生二十

今年度は、二区の納涼祭、萩の里祭り、敬老祭に出演しており、子供達も発表の機会があると不思議に自信とやる気が出てくるようです。保育園児の部では、萩の里祭りの発表を見たお友達がたくさん入会してくださり、驚いています。町のふるさと祭りでも、十九日にステージ発表を予定しており、曲目は「ビリーブ」「フレンジー」です。御声援、宜しくお願い致します。

地域の紹介

活力ある楽しい地域づくり

三区力行会長 上沼祥佑

部活名が自治会となったが三区区内では先代が名付けた力行会を何十年と使ってきたので、そのまま名乗っている。

下市田の中央部に位置し昔は製糸工場、鍛冶屋、郵便局やその他数々の店があり、中村耕地として栄えた萩山神社北側には中村耕地の神様を奉っている。お宮、お寺、荒神様、保育園、区民会館と主なものがあ。三六

のまま名乗っている。下市田の中央部に位置し昔は製糸工場、鍛冶屋、郵便局やその他数々の店があり、中村耕地として栄えた萩山神社北側には中村耕地の神様を奉っている。お宮、お寺、荒神様、保育園、区民会館と主なものがあ。三六

お助けマンの高齢者ふれあいサロンを民生委員の協力を頂いて上中下段三班に分けて少人数で楽しむ。萩の会は高齢者をご招待して、春と秋二回お楽しみ会に園児をお呼びして楽しい一時を過ごす。参加九十人。

災害時には百戸以下でした戸数も増加して現在地下歩道、旧学校等掃除。野菜作りクラブ活動も活発。お年寄りのお宅へ友愛訪問。一昨



年、輝かしい全国表彰を受賞されました。段丘で上下地域ですが、物事は一致団結して活力のある楽しい地域として進みます。

区委員

スポーツ大会

十月一日(日) 区役員、各委員による親睦スポーツ大会・グラウンドゴルフ大会が計画されていました。

午前中よりはっきりしない天気であり、スポーツ大会が出来るのかと、皆心配されたことと思います。

本年度は、林務委員会が会場準備であり、小雨の午後一時に集合し準備を始めコース作り、道具の調達と手分けし、途中天気を案じ来てくれた区長さんにも手伝ってもらいながら、楽しく少し意地悪なコースもと皆で考えました。準備が完了し、開始を待つばかりとなったけれど、空を見ると雲行きが悪く、雨も止む様子もなく、区長さん始め皆で出来るか心配していたが、二時半にグラウンドゴルフ大会は中止となってしまった。

林務副委員長 唐沢弘之



この六十五号は六月に行われた「地元町議との懇談会」、七月の「萩の里まつり」それに、十月の「文化祭り・敬老会」と、行事が盛りだくさんの号となりました。

特に外での行事は、いずれも好天に恵まれ、天の助けも得られた上に、大勢の方の参加を頂き、盛会裏に終えることができました。あらためて感謝申し上げます。

編集後記